

◇ 静岡 静子 さんの介護計画書(テーマ: 排泄 支援)事業所名 特別養護老人ホーム白扇閣競技者氏名 寺田 翔

長期目標 (期間: 12ヶ月)	自分でできることを増やし、自信を取り戻したい
--------------------	------------------------

課 題	短期目標		具体的な援助内容・方法		頻度
	目 標	期間	内 容	方法	
「迷惑をかけたくない。」といった思いや失敗などから、ベッド上で過ごされる事も多く、ポータブルトイレの利用も躊躇してしまっている様子である。 他者との関わりを通じて、安心して楽しく生活できるよう働きかける必要がある。	①現在行っている寝返りや起き上がりを継続し、ポータブルトイレの利用の回数を一回でも多くする。	1～6ヶ月	自分でできている寝返り・起き上がりを職員の声かけのもと行う。静岡様の協力動作があった際には感謝の言葉を伝え、今後も継続して頂けるよう、モチベーションの維持を図る。 静岡様より排せつの意思が見られた際には、ポータブルトイレの利用を声かけし、静岡様の調子がよさそうであれば利用して頂く。 静岡様がベッド上での排泄介助を希望された際は、柵に掴まっての体位変換などできる範囲で協力して頂けるように声かけを行う。協力動作が見られた際は、必ず感謝の言葉を伝える。 週間計画では、10時、12時、16時が日中の排泄介助となっているため、日中の声かけを行い、レクリエーションにも参加できるよう生活リズムを整えていく。 ご本人の排泄のタイミングを確認するためにナースコールの利用を声かけする。 排泄時のナースコールの時間やタイミングは職員間で共有し、徐々に静岡様に合った排泄の時間に調整していく。	1. 排泄介助時に協力動作の声かけを行う。 おむつ交換の際は、「右側の柵を持ってください」など分かりやすく実行しやすい声かけを行う。 ポータブルトイレ利用時は、静岡様の支持基底面の確認、不安にならないよう本人を支えるなど、安心して利用して頂けるようにする。 2. 日中の排泄介助時に体調確認を行い、体調がよく、静岡様がポータブルトイレの利用に前向きであればポータブルトイレを利用して頂く。 3. 体を動かす際、支えるだけでなく、動く方向を伝えたり、手すりなどのものの位置を口頭で伝えたりして、分かりやすく実行しやすい声かけを行う。 4. ナースコールを気兼ねなく使用して頂けるように、排泄介助だけでなく、静岡様に関わった際にはナースコールを遠慮せず押して頂くよう声かけをする。	1. 排泄時 2. 排泄時確認し、静岡様がポータブルトイレの利用に前向きな時 3. 介助を行う時 4. 静岡様に関わった時
	②静岡様が好きなカラオケや、物あてゲームを通して成功体験を増やし、自信をつけて自分でできることを増やしたい。	1～6ヶ月	静岡様が好きな、物あてゲームやカラオケに参加して頂き、周りからの温かい声で成功体験を積み、モチベーションの維持向上を図ると共に、他利用者との交流を深める。できる範囲でできることを行っていただき、ADLの向上を図る。 自信の喪失につながると考えられる、思い込み、記憶力の低下による発言が見られた際には静岡様を否定するような声かけはせず、丁寧な声かけをする。	1. 排泄介助終了時や、レクリエーション参加時に、物あてゲームの声かけを行う。ゲーム終了時は必ず温かい声かけを行う。またヒントを出すなどして、正解して頂けるようにする。 2. 思い込み、記憶違いの発言が見られた際には、「一緒に確認してみましょう。」と声かけを行い、確認した後に「勘違いすることもありますよ。」、「教えてくれてありがとうございます。」、「何か困ったことがあったら何でもいってくださいね。」などのポジティブな声かけを行う。 3. L字柵、立位補助具を利用するなどし、環境面でも静岡様ができることを増やせるような支援を展開する。	1. レクリエーション参加時 (静岡様の調子を伺いながら) 2. ネガティブな発言が見られた時 3. 静岡様の様子を伺いながら検討。